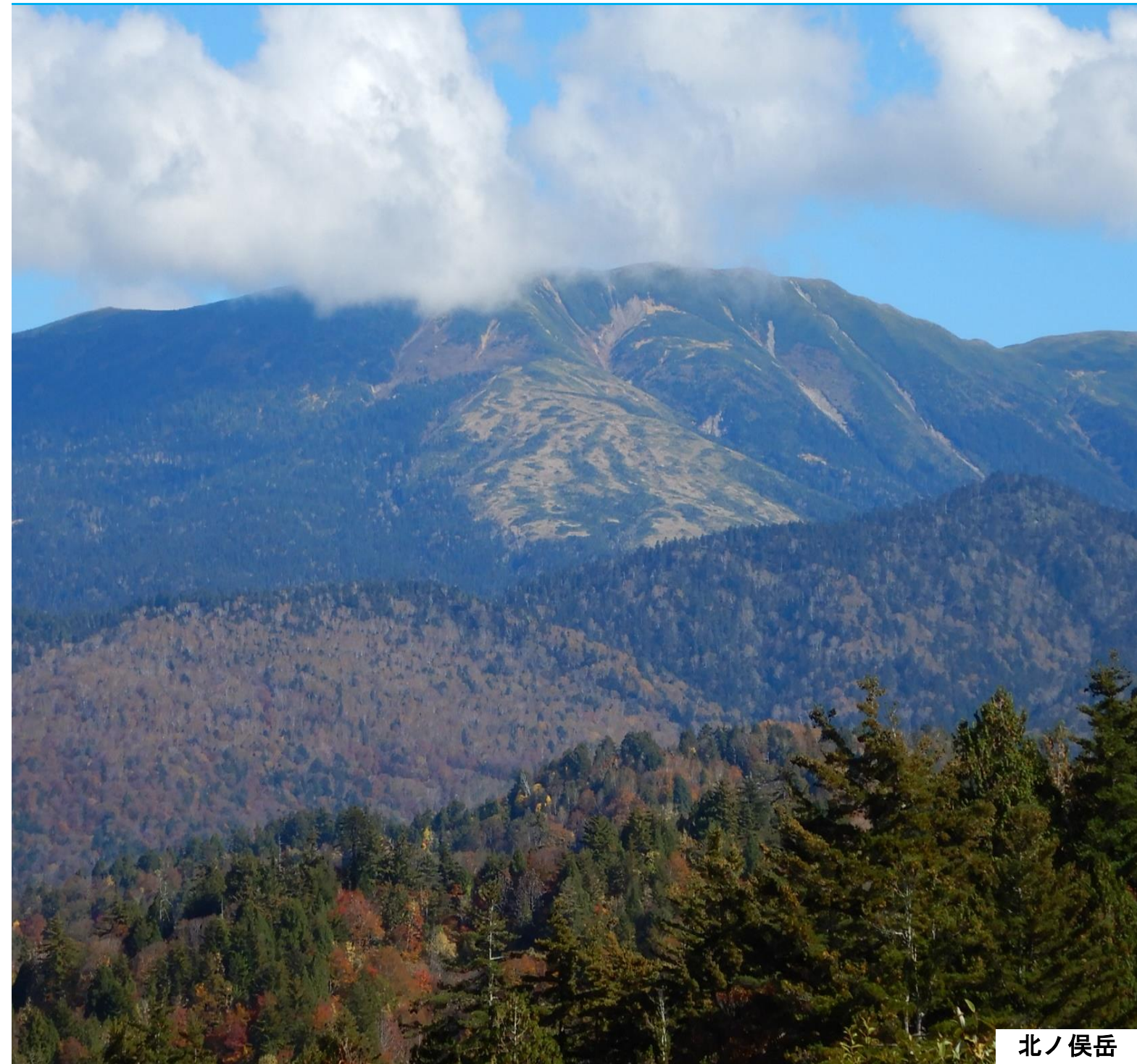


令和6年度 神岡森林事務所 部内概要



北ノ俣岳



林野庁 中部森林管理局
飛騨森林管理署 神岡森林事務所

<管内図>



<地理>

神岡森林事務所は飛騨市神岡町全域と高山市上宝町の双六川流域、飛騨市宮川町のソング谷流域に及ぶ地域の国有林を管轄しています。国有林面積は17,279haと広く、名古屋から富山までを結ぶ国道41号線沿い（大津山国有林・標高290m）から、日本を代表する山岳地帯である北アルプスの名峰北ノ俣岳（金木戸国有林・標高2,662m）まで、標高差が2000m以上もある多種多様な環境の国有林を管理しています。

地形は神岡町山之村地域の高原状地形や跡津川断層による川の屈曲と直線状地形など多様で複雑な特徴が見られます。双六担当区は急峻な地形が多いですが、双六岳から北ノ俣岳にかけての稜線はなだらかでお花畑が見られます。

地質は、片麻岩を主とする基盤が分布する飛騨帯と呼ばれる地質構造です。また、スカルン型鉱床が広がっており、かつては鉱業によって栄えた地域でもありました。

気候は、他の飛騨地方の一带と同様に内陸性のため、年間降水量は約2,000mmと少なく、一日の寒暖の差が大きくなっています。また、地形が複雑であるため風は全般的に弱く、年平均気温は約11.4度℃と低い地域で、年間平均降雪量は565.9cmと県下でも有数の豪雪地帯です。（観測地点は神岡：気象庁2012年～2021年データによる）

<林況>

部内は国有林の標高差が約2,600mにも及ぶため、多種多様な植生を観察することができます。

標高の低い地域ではブナ、ナラ、トチ等の広葉樹が大部分を占め、1,000m～1,600mにおいては沢筋にトチノキ、サワグルミ、ブナ等の広葉樹、尾根筋にはコメツガ、ネズコ、ヒメコマツ等となり針葉樹の混交歩合も著しく増加します。

標高1,600m以上になるとアオモリトドマツ、シラベ、トウヒ等が見られ亜高山帯となり、広葉樹はカンバ類、ブナ類が一部見られる程度でほか針葉樹林を形成しています。いずれも伸長成長が低下し2,000m以上では形質不良となっています。2,400mに達すると高木がほとんどないハイマツ地帯となり、広葉樹の一部にはダケカンバやナナカマドなどが見受けられる程度となります。2,800m以上では樹木は生育できない高山帯となり、クロユリやコマクサなどのお花畑が見られる場所もあります。

人工林は、古くは明治39(1908)年から新しいものは平成13年(2001)年まで100年近くにわたりスギ、ヒノキ、カラマツ等が植栽され、国有林の16%にあたる2,735haを占めています。また、人工林内でスギ、ヒノキ、カラマツの3樹種で人工林の約90%を占め、齢級は60年生前後の人工林が多いため、将来的には主伐も実施することが見込まれます。

<国有林の機能類型>

林野庁は主な目的に応じて国有林を5種類の機能類型に分類しており、神岡森林事務所部内にはそのうち4種類の機能類型が存在しています。

保安林と国有林の機能類型の最大の違いは、保安林が国民の安心・安全な生活を守ることを念頭に置いているのに対して、機能類型は森林の持つ機能を最大限に発揮するためにどのように管理していけばよいのかを念頭に置いているという点です。

| 区分 | 管理経営の考え方 | 面積割合 |
|-----------|---|-------|
| 山地災害防止タイプ | 根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持 | 45.5% |
| 自然維持タイプ | 良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持 | 33.5% |
| 森林空間利用タイプ | 保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成 | 1.3% |
| 水源涵養タイプ | 人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮 | 19.7% |

<保護林>

双六川の源流部にあたり、笠ヶ岳や黒部五郎岳などを抱える金木戸国有林では、希少な動植物が生息する生態系を適切に管理するために、北アルプス金木戸川・高瀬川源流部森林生態系保護地域を設定しています。

その特徴としては、稜線付近だけではなく、標高1,300m付近から自然植生が維持されており、ブナ林からハイマツ林までの標高による林相の移り変わりを目にすることができます。稜線付近には国の特別天然記念物でもあるライチョウが生息しており、飛騨森林管理署ではその適切な管理を実施するためにライチョウ生息地調査(外部委託)を実施しています。



ライチョウ

<レクリエーションの森>

神岡森林事務所部内には1箇所、レクリエーションの森があります。特に、深洞(ふかど)自然観察教育林には「天生県立自然公園と三湿原回廊」のひとつとして、「岐阜の宝もの」に認定されている深洞湿原があります。

深洞湿原は一般的にイメージされる開放的な空間が広がる湿原とは異なり、樹高30mを超えるトウヒの原生林に包まれています。足下にはミズバショウやリュウキンカ、モウセンゴケなど湿原を代表する植物が広がります。また、禁漁区に指定されていて、イワナをはじめとする魚類も多くみられます。

なお、深洞湿原へとつながるホオノキ林道は一般車両進入禁止となっておりますので、訪問される際は地域開催のツアー等への参加をおすすめします。



ミズバショウとリュウキンカ

< 国有林別面積 >

| 国有林名 | 林地面積 (ha) | | | 保安林面積 (ha) ※一部重複あり、林地以外も含む | | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------------|--------|-------|-------|
| | 人工林 | 天然林 | 計 | 水源かん養 | 土砂流出防備 | 干害防備 | なだれ防止 |
| 大津山 | | 103.70 | 103.70 | 63.06 | | | 45.14 |
| 水無洞 | | 21.60 | 21.60 | 21.60 | | | |
| 大多和 | 212.6 | 245.82 | 458.42 | 458.42 | | | |
| 水洞谷 | 121.97 | | 121.97 | 121.56 | | | |
| ブドウ谷 | 31.79 | 127.18 | 158.97 | 158.97 | | | |
| 金木戸 (旧神岡町) | 296.36 | 3,758.12 | 4,054.48 | 4,382.58 | | | |
| ウレ山 | 372.16 | 126.97 | 499.13 | 499.25 | | | |
| ヲシホ山 | 6.58 | 27.65 | 34.23 | 34.23 | | | |
| 中ノ谷 | 89.83 | 0.61 | 90.44 | 90.44 | | | |
| 下ノ洞山 | 27.08 | 30.84 | 57.92 | 57.92 | | | |
| 片センノウ | 8.66 | 111.66 | 120.32 | 120.32 | | | |
| 間山谷 | | 61.40 | 61.40 | 61.40 | | | |
| 下峠 | | 25.27 | 25.27 | | | | 32.04 |
| 前平 | 89.94 | 2.24 | 92.18 | 92.18 | | | |
| ソウレ | 12.68 | 27.53 | 40.21 | 40.21 | | | |
| 寄合谷 | 15.07 | | 15.07 | | | 15.07 | |
| 釜ヶサコ | 2.73 | 7.06 | 9.79 | 9.79 | | | |
| 稗田洞 | 1.23 | 3.11 | 4.34 | 4.34 | | | |
| 切雲 | 468.03 | 129.56 | 597.59 | 540.40 | 57.98 | | |
| ソンボ | 823.92 | 678.15 | 1,502.07 | 1,507.90 | | | |
| 坂ノ谷 | 132.14 | 178.85 | 310.99 | 244.77 | 68.56 | | |
| 金木戸 (旧上室村) | 147.12 | 6,998.28 | 7,145.40 | 8,095.52 | | | |
| ヲハギ谷 | 166.74 | 118.13 | 284.87 | 246.81 | 38.59 | | |
| 計 | 3,026.63 | 12,783.73 | 15,810.36 | 16,851.63 | 165.13 | 15.07 | 77.18 |

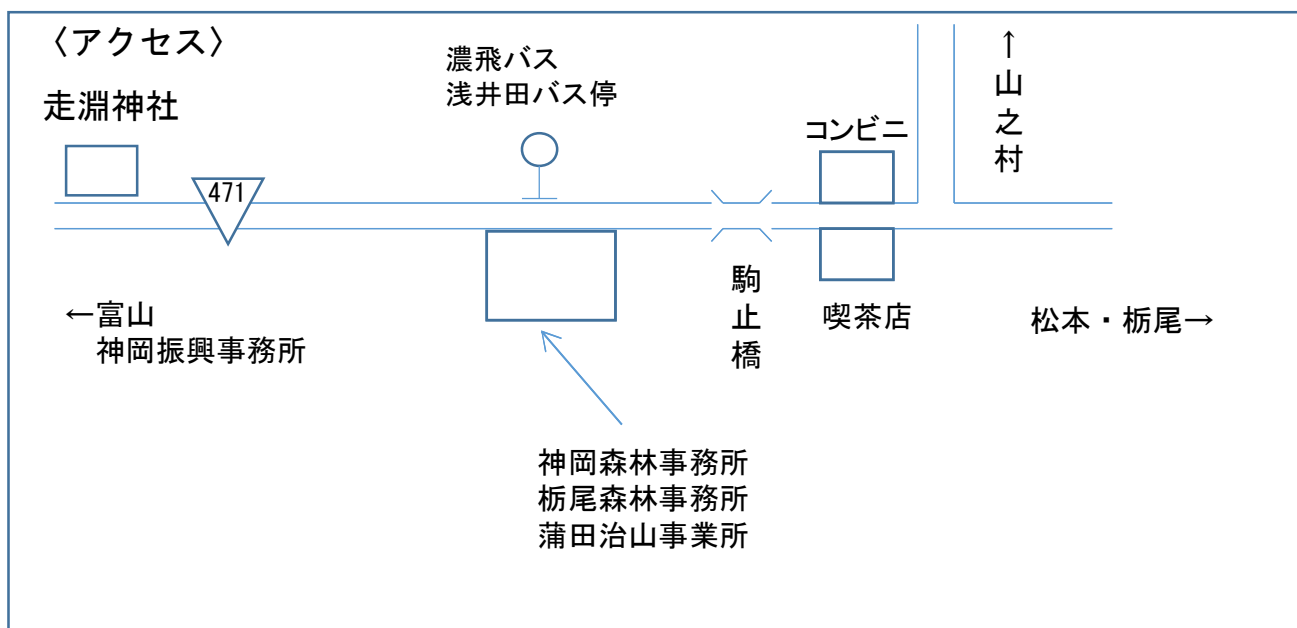
< 令和6年度の事業予定 >

境界管理 境界巡視ほか

二ホンジカ対策 センサーカメラによる生息状況調査

林道改良工事

注) 事業については、令和6年3月段階の予定であり、変更もあります。



林野庁 中部森林管理局 飛騨森林管理署 神岡森林事務所

〒:506-1133 岐阜県飛騨市神岡町数河827-2

TEL:0578-82-0046